

Title: 「潜水するひつじ」



高橋 知佳
1989年生まれ。他称・じゃじゃ馬。ついに本の世界から現実世界へと飛び込みます。

● 最近のエントリー

潜水したひつじ
(2009.10.01)

● アーカイブ

2009年10月
2009年09月
2009年08月
2009年07月
2009年06月
2009年05月
2009年04月
2009年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

潜水するひつじ > 2009年10月 アーカイブ

09.10.01

潜水したひつじ

[Tweet](#)

[Check](#)

20歳の誕生日を迎えて1ヶ月もしないうちに出国して、10万国、巡り巡って帰ってきた日本。

政権は交代して、夏は終わりがけていて、愛犬は私のことをすっかり忘れていて、部屋は物置にされていて、バイト先の名簿は知らない名前で溢れている。

半年間の空白。

単身赴任中の父がたまたま帰ってきたけれど、あれ。父、こんなに白髪多かつたっけ。「なんか老けた？」思わず口から出る言葉。「うん、老けた老けた。アハハ。ねえ、久々だし握手しようよ」なにゆえ握手、と思いつつも右手をグツ。すると横から口を挟んで来る姉。「おまえこそ、ちょっと頭頂部薄くなったんじゃない?」「!!!」

なにはともあれ。もうパスポートをお腹に巻く必要もないし、洗面台で靴下と格闘する必要もないし、ベッドでありんこの行列を追い払う必要もない。そう思うとなんだか気が振けてしまう。

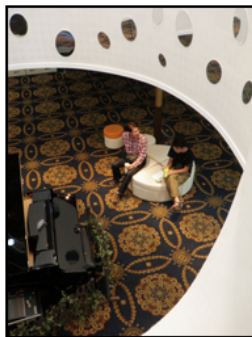
運命が1ミリでも良い方向に動けばいい。そう思って入ったこの、フィールドワークコース。越えられない障壁はまだまだあるけれど、それでもやっぱり、見晴らしはよくなった気がする。「もう大丈夫。もうどこにでも行ける」そう思えるくらいには。

出会った人々の顔や声、訪れた街の香りや色彩。様々なディテールは、数十年後には記憶から遠ざかってしまうだろうけれども、彼らがそこにいたことや、私がそこにいたことや。確かに過ぎた時間やら。そういう軸たるものは、決して忘れ去ることのないように。

“光あるうちに、光の中を歩め”
あとはもう、本当にこれだけ。

この半年間。支えてくださったり、見守ってくださったり...
様々なありがたうを、様々な方々へ。







明日、10月2日は帰国報告会です。
901講堂にて17時45分より開始予定です。
4期生一同、みなさまのお越しを心からお待ちしております。

カテゴリ：

post by 高橋 知佳 | 日時: 2009.10.01 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)